

# 道路の改良と交通機關統制の必要

中 川 正 左

我國に於ける道路の改良は近時著しく其の度を高めて來て國道府縣道及び市町村道の全班に互り道幅の擴張路面の鋪裝等が着々實施せられて居るのは誠に悦ばしいことであると思ふ。之に伴つて自動車の交通も自然急テンポに普及して行くものと見なければならぬのである。今日十萬臺許りの自動車でも鐵道や軌道は非常な打撃を受けて居るのであるが、之が二十萬臺三十萬臺を突破する様になりましたならば、一層打撃の多いものと覺悟しなければならぬかと思ふ。

現在我國では地方鐵道と軌道とを合計すると、開業全長は九千八百粍即ち約一萬粍に達して居るのであります。拂込資本が十二億圓、社債及借入金が十八億圓に上つて居るのであるが、其の平均開業線路は地方鐵道が僅かに二十六粍であつて、軌道の方は十九粍となつて居る。此の如き短距離の交通機關は自動車運輸に脅威侵略されることが可なり大きいそれは自動車運輸が鐵道輸送に比べて左の如き長所と特色を有つて居るからである。

一、自動車は通常道路上を走るのであるから鐵道の様に多額な固定資本を要しない。

二、自動車運輸にては鐵道軌道の如くに道路の維持費や撤水費等を負擔しない。

三、自動車の定員や輸送單位は鐵道に比べて甚だ僅少であるから運輸數量の繁閑に應じて、車種と運轉回數とを増減變更し得られ、自由な又經濟的な運輸を試むことが出來得る。

四、鐵道の方は驛から驛までの運送であるから、驛から住宅や倉庫までの小運送の問題があるのに、自動車の方は戸口から戸口へ直通して運送することが出來て小運送の問題を生じないから、自動車運賃と鐵道運賃とを較べると自動車の方が高い様でも、鐵道の方に小運送の費用を加算すると自動車運送の方が却て安く且つ速達すると云ふことが多いのである。

五、自動車の方は戸口から戸口へ直通運送し得らるので、鐵道に比べると荷送をしたり途中で積換をするの煩がないから、荷造費と積卸費との節約が出來て事故や損害を生ずることも比較的少いのである。

自動車運送即ち道路運送が鐵道運送に比べて右に列擧する様な特色を有つて居るから、自動車運送と鐵道運輸とは互に競争者となり、或は運賃を引下げたり或はサービスの改善を爲したりして、旅客貨物の奪ひ合ひを始めると云ふ様なことが隨所に行はれ、歐米各國に於て此種の競争には、當業者が随分頭を悩ましたのである。

そこで道路の改良が充分に徹底して遂行せらるる様になると此種の競争は、益々劇甚となつて來る傾向があり、鐵道輸送の領域が次第々々に自動車運送即ち道路運送に侵觸されて來るから、鐵道業

者は須らく自動車運輸業者と協調して無益有害なる競争を避け交通事業相互間の統制を計らなければならぬ。而して此の統制は成るべく事前に實施されることゝが國家經濟上に於ても最も望ましいことであるから道路改良の促進遂行と共に交通業者の反省を促さなければならぬのである。

(編輯子本論の参考としては左の事項に注意せらるることを望む。

A 鐵道事業に對する自動車の發達

- 1 交通企業が漸次自動車に移行したこと
- 2 交通専門家が自動車運輸に關心を進めたこと
- 3 自動車製造工作が改善せられたこと
- 4 自動車交通事業法が制定せられたこと
- 5 道路が著しく改良せられたこと
- 6 自動車専用道路が經營せらるゝに至つたこと

B 鐵道の不經濟な過程

- 1 荷送人の戸口に於ける積込
- 2 貨物驛迄の小運送
- 3 貨物驛に於ての貨物ホームへの荷卸
- 4 貨物ホームより貨車に積載
- 5 中繼驛迄の運轉と中繼驛に於ての荷卸
- 6 中繼驛に於て他の代用車に積込
- 7 到着驛に於ての荷卸
- 8 荷受人の住所迄の小運送
- 9 荷受人の戸口に於ての荷卸